

兵庫県立女性センター 第5回 グループ交流フェスティバル

分科会

メディアと女性の人権

担当：コマーシャルの中の男女役割を問い直す会
／ウィメンズネット・こうべ／神戸YWCA

今年3月、東京・渋谷で女性会社員が殺された事件で、テレビのワイドショーや週刊誌はいっせいに被害女性の私生活を暴きたてました。10年ほど前に東京都足立区で起こった、いわゆる「女子高生コンクリート詰め殺人」事件でも、同様に被害女性の私生活が詮索され、さも被害者の方に落ち度があるかのような報道がなされました。その後も、94年に起きた「つくば母子殺人」事件など、被害女性のプライバシーを興味本位に取り上げる報道は後を絶ちません。

このような女性に対する人権侵害はなぜくりかえされるのでしょうか。メディアのどこに原因があるのでしょうか。報道する側の一員であるゲストとともにこの問題について考えていきたいと思えます。また、この問題に対して、視聴者・読者として何ができるか、何をすべきかをも合わせて考えていきたいと思っています。

皆様のご参加をお待ちしています。

〔ゲスト〕

相川康子（神戸新聞情報科学研究所研究員）

〔日時〕

12月7日（日）午後2時～4時

〔場所〕

兵庫県立女性センター（神戸クリスタルタワー8階）
（JR神戸駅前／☎078-360-8550）

なお、当日午前10時～12時は、同会場で、以下の4つの分科会が行われます。「中高年の生きがい探し」「生と死を考える」「近代日本の家族思想—文学から見る『貞操』と嫡出推定」「私のからだは私のもの」。

また、午後0時15分～午後1時45分は、参加者同士が自然に知り合えて親しくなれる“出会いのパーティ”（参加費300円／簡単な軽食と飲み物付き）も行われますので、ぜひご参加ください。

（分科会は参加費無料）

〔お問い合わせ先〕

コマーシャルの中の男女役割を問い直す会
吉田清彦（☎06-499-1274）